

2004 年秋季年会

年会プログラム

於 岩手大学

2004 年 9 月 21 日 (火) ～ 9 月 23 日 (木)

日 本 天 文 学 会

＜年会プログラムは、取り外せます。＞

日本天文学会 2004 年秋季年会プログラム

場 所 岩手大学上田キャンパス (案内図参照)

〒 020-8550 盛岡市上田 3-18-34

電話 090 - 4387 - 6893 <使用期間 2004 年 9 月 20 日 (月) ~ 9 月 23 日 (木) >

日 程

月日	会場	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
9 月 20 日 (月)							記者会見				
								公開講演会			
9 月 21 日 (火)	A			T. 銀 河 団				C. 銀河団 C F			
	B							H. 高密度天体			
	C			Q. 星 間				Q. 星 間			
	D			R. 銀 河				R. 銀 河			
	E			D. 彗星物質				L. 太陽系 / K. 天力 / Y. 教育			
	F			N. 恒 星				N. 恒星 / V. 地上観			
	G			W. 飛 翔 観				W. 飛 翔 観			
9 月 22 日 (水)	A	A. 天の川創成					A. 天の川創成				
	B	H. 高密度天体					H. 高密度天体				
	C	P. 星・惑 星					P. 星・惑 星				
	D	R. 銀 河					S. 銀 河 核				
	E	U. 宇 宙 論					M. 太 陽				
	F	V. 地 上 観					V. 地 上 観				
	G	W. 飛 翔 観					W. 飛 翔 観				
9 月 23 日 (木)	A	B. 大規模構造					B. 大規模構造				
	B	H. 高密度天体					H. 高密度天体				
	C	P. 星・惑 星					P. 星・惑 星				
	D	S. 銀 河 核					S. 銀 河 核				
	E	M. 太 陽					M. 太 陽				
	F	V. 地 上 観					V. 地 上 観				
	G	W. 飛 翔 観									
		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18

A 会場：人文社会学部 5 号館 1 F (51 大)

B 会場：人文社会学部 5 号館 2 F (52 大)

C 会場：学生センター棟 1 F (G1 大)

D 会場：学生センター棟 2 F (G2 大)

E 会場：学生センター棟 2 F (G22)

F 会場：学生センター棟 4 F (G42)

G 会場：学生センター棟 1 F (G19)

受 付 : 学生センター棟 1 F (玄関ホール)

ポスター会場 : 学生センター棟 3 F

(P1, P2, P3, P4, P5)

会議室 1, 2 : 学生センター棟 4 F

懇親会会場 : 中央学生食堂

◎講演数

講演数：合計 616

(口頭講演 (a)：346、ポスター講演 (b)：218、ポスター講演 (c)：52)

◎参加費用

	会 員	非会員
参 加 費	3,000 円	5,000 円
(但し会員で講演有りの場合、参加費は無料)		
講 演 登 録 費	3,000 円	5,000 円 (1 講演につき)
年 会 予 稿 集	2,000 円	2,000 円 (購入希望者のみ)

※参加費・講演登録料は、会期中に受付にて忘れずにご納付下さい。

※講演申し込み後にキャンセルしても、講演登録費を支払う必要があります。

◎講演に関する注意

1. 口頭発表は7会場で行って行きます。口頭講演(添字 a)は、口頭発表 9 分、質疑応答 3 分です。ポスター講演(添字 b)は、口頭発表 3 分、3 講演で 12 分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2. ポスター発表(添字 b)、(添字 c)は、3 日間掲示できます。ポスターは縦 180 × 横 90 cm まで掲示できます。ポスター会場の指定された場所に、9 月 21 日の 9:30 から 9 月 23 日の 13:00 まで掲示できます。終了後は速やかに撤去してください。
3. 講演には OHP または液晶プロジェクターをご使用下さい。(液晶プロジェクターの使用に際しては、セッション開始迄に接続を確認し、念のため OHP での発表もできるようにしておいて下さい。また迅速に講演者交代を行うためケーブル切り替え器を用意していますので、一つ前の講演中に計算機の接続をして待機して下さい。)

◎会期中の行事

1. 記 者 会 見 : 20 日(月) 13:30 ~ 14:30 ブラザおでって
学会講演の中から、数件のトピックスを選び、記者会見を行います。
2. 公 開 講 演 会 : 20 日(月) 14:00 ~ 17:00 ブラザおでって
3. 理 事 会 : 21 日(火) 12:30 ~ 13:30 会議室 1
4. 評 議 員 会 : 22 日(水) 12:00 ~ 13:00 会議室 1
5. 教 育 フ ォ ー ラ ム : 22 日(水) 15:00 ~ 16:00 A 会場
6. 総 会 : 22 日(水) 16:00 ~ 17:20 A 会場
(16:00 ~ 16:30 総会出席者確認、16:30 総会開始)
主な議題 = ○新役員(理事・監事)の選任
○選挙管理委員の承認
○2005 年度事業計画書
○2005 年度収支予算書
7. 林忠四郎賞受賞記念講演 : 22 日(水) 17:20 ~ 18:00 A 会場
「新星から超新星へ」 加藤万里子(慶応大学)、 蜂巢 泉(東京大学)
8. 懇 親 会 : 22 日(水) 18:30 ~ 中央学生食堂

◎天文教育フォーラム

共催：天文教育普及研究会

テ ー マ : 「著作権—あなたの利益と不利益の間で」

日 時 : 2004 年 9 月 22 日 (水) 15:00 ~ 16:00

場 所 : A会場

概 要 : 研究者にとって、研究内容を文章にしたり発表するのは仕事のうちです。研究論文だけでなく、教科書や一般むけの科学解説文など、いろいろな文章を書く機会があります。しかし最近、著作権にかかわる怪事件が後を断ちません。翻訳を自分の著作と偽って職を失うのは極端な例ですが、そこまでいなくても、他人の図を自分の論文中に無断掲載する、二重投稿するなど、いろいろな事件があります。そこで「著作権」についてみなさんの関心を高めるため、このフォーラムを企画しました。今回は法律的な詳細云々よりも、「執筆の精神」に焦点をおきたいと思います。そのため、メインゲストは法律の専門家ではなく、一般むけ科学雑誌の編集長にお願いしました。理事のコメントとともにみなさんに考えていただく材料を提供します。

内 容 : ○基調講演『『パリティ』編集20年の経験から』

大槻義彦 (早稲田大学、『パリティ』編集長)

○コメント「天文月報で研究者デビューを -- 宣伝効果と著作権問題」

土橋一仁 (学芸大学、月報理事)

○コメント「年会発表の波及効果」

土居 守 (東京大学、年会理事)

○総合討論

実 行 委 員 : 田 光江 (情報通信研究機構、教育理事)、加藤万里子 (慶応大学)
矢治健太郎 (国立天文台)、安藤享平 (郡山市ふれあい科学館)

◎日本天文学会公開講演会

テ ー マ : 「天の川を旅する 21 世紀の銀河鉄道」

日 時 : 2004 年 9 月 20 日 (月) 14:00 ~ 17:00 (開場 13:30)

場 所 : プラザおでって

対 象 : 中学生以上・一般向け

講 演 I : 動き出した地上の銀河鉄道; VERA (電波で測る)

講 演 者 : 真鍋盛二 (国立天文台・教授)

講 演 II : 宇宙に飛び出す銀河鉄道: JASMINE (赤外線で測る)

講 演 者 : 郷田直輝 (国立天文台・教授)

※入場無料、事前の参加申し込みは不要です。当日ご自由においで下さい。ただし、会場の都合で入場を制限する場合がございますので、早めにご来場ください。

秋季年会会場(岩手大学)のご案内



交通案内

盛岡駅から岩手大学まで

バス 盛岡駅前バスのりば 11番のりばから

岩手県交通バス 駅上田線「松園バスターミナル行き」に乗りし、「岩手大学前」で下車。
駅桜台団地線「桜台団地行き」に乗りし、「岩手大学前」で下車。

(注：岩手大学から盛岡駅へは、大学正門前の通りより1本東側の通りの
上田二丁目バス停より「盛岡駅前行き」に乗り車。)

徒歩 盛岡駅から約2km 約25分

花巻空港から盛岡駅まで

バス 花巻空港バスのりば 2番のりばから

岩手県交通バス 盛岡～花巻空港連絡バス「盛岡バスセンター行き」に乗りし、
「盛岡駅前」で下車。

盛岡駅から公開講演会会場（プラザおでって）まで

バス 盛岡駅前バスのりば 16番のりばから

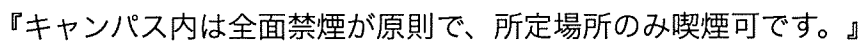
岩手県交通バス 盛岡都心循環バス でんでんむし号（左回り）に乗りし、
「盛岡バスセンター（中三前）」で下車。

(注：盛岡駅から盛岡バスセンターへの路線はこの他にも多数あり)

盛岡駅方面へ徒歩2分

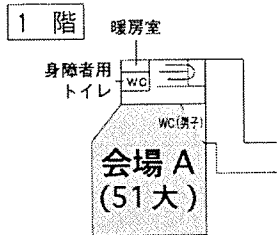
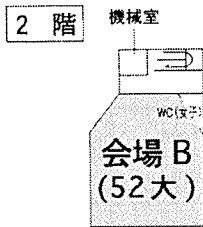
徒歩 盛岡駅から約1.5km 約20分

(岩手大学上田キャンパス)

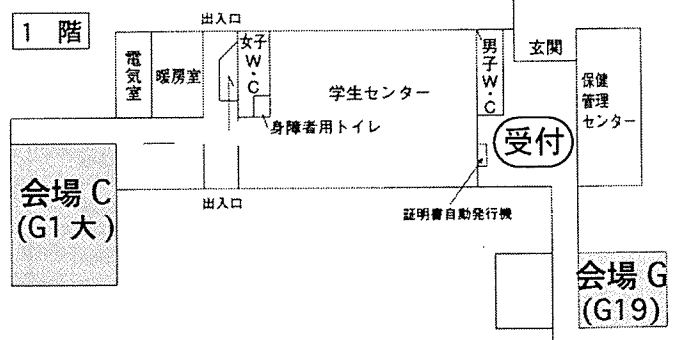
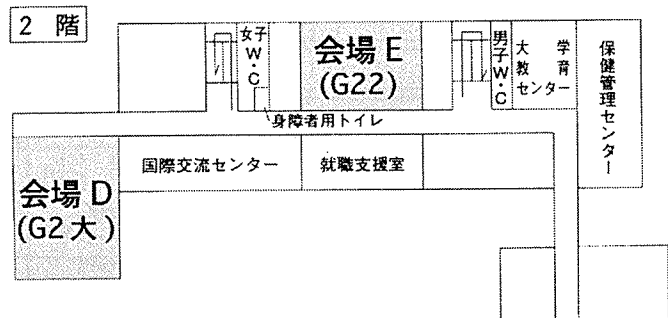
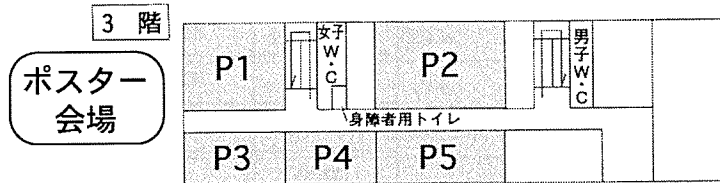
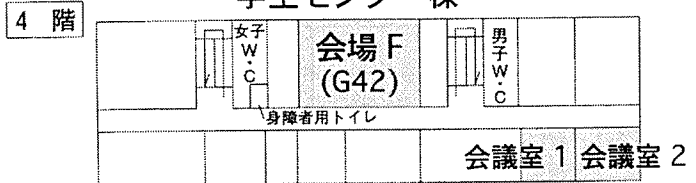


会場配置図

人文社会科学部
5号館



学生センター棟



口頭セッション 9月21日(火)

開始時刻	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場		
	【銀河団】		【星 間】	【銀 河】	【彗星物質】	【恒 星】	【飛翔観】		
10：00	T01b - T03b		Q01b - Q03b	R01a	D01a } D14a	N01a	W01a		
10：12	T04b - T06b		Q04b - Q06b	R02a		N02a	W02a		
10：24	T07b,T08b		Q07b - ,Q09b	R03b - R05b		N03a	W03a		
10：36	T10a		Q11b - Q13b	R07b - R09b		N04b - ,N06b	W05a		
10：48	T11a		Q14a	R10b - R12b		N08b - N10b	W06b - W08b		
11：00	T12a		Q15a	R13b - R15b		N11b - N13b	W11b - W13b		
11：12	T13a		Q16a	R16b - R18b		N14a	W14a		
11：24	T14a		Q17a	R19b - R21b		N15a	W15a		
11：36	T15a		Q18a	R22b - R24b		N16a	W16a		
11：48	T16a		Q19a	R25a		N17a	W17a		
12：00	T17a		Q20a	R26a		N18a	W18a		
12：12	T18a		Q21a	R27a		N19a	W19a		
12：24	T19a		Q22a	-		-	W20b,W21b		
12：36	T20a		-	-		-	-		
12：30	昼休み								
13：30	ポスター								
	【銀河団 CF】	【高密度天体】	【星 間】	【銀 河】	【太陽系 / 天力 / 教育】	【恒星 / 地上観】	【飛翔観】		
14：30	C01a } C11a	H01a	Q23a	R28a	L01a	N20a	W22a		
14：42		H02a	Q24a	R29a	L02a	N21a	W23a		
14：54		H03a	Q25a	R30a	L03a	N22a	W24a		
15：06		H04a	Q26a	R31a	L04b - L06b	N23a	W25b - W27b		
15：18		H05a	Q27a	R32a	L07b,K01b	N24a	W28b - W30b		
15：30		H06a	Q28a	R33a	K02a	N25a	W31a		
15：42		H07a	Q29a	R34a	K03a	V01a	W32a		
15：54		H08a	Q30a	R35a	Y01a	V02b - V04b	W33a		
16：06		H09a	Q31a	R36a	Y03a	V05b - V07b	W34a		
16：18		H10a	Q32a	R37b - R39b	Y04b - Y06b	V08b - V10b	W35a		
16：30		H11a	Q33a	R40b - R42b	Y07b - Y09b	V11b - V13b	W36a		
16：42		H12b - H14b	Q34a	R43a	Y13a	V14b,V15b	W37b - W39b		
16：54		H15b - H17b	Q35a	-	Y14b,Y15b	-	-		
17：06		H18b	-	-	-	-	-		

口頭セッション 9月22日(水)

開始時刻	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場
	【天の川創成】	【高密度天体】	【星・惑星】	【銀 河】	【宇宙論】	【地上観】	【飛翔観】
09:00	A01a } A09a	H19a	P01b - P03b	R44a	U01a	V16a	W40a
09:12		H20a	P04b - P06b	R45a	U04a	V17a	W41a
09:24		H21a	P07b - P09b	R46a	U06a	V18a	W42a
09:36		H22a	P10b - P12b	R47a	U07a	V19b - V21b	W43a
09:48		H23a	P13b - P15b	R48a	U08a	V22b - V24b	W44a
10:00		H24a	P16b - P18b	R49a	U09a	V25a	W45a
10:12		H25a	P20a	R50a	U10a	V27a	W46a
10:24		H26a	P21a	R51a	U11a	V29a	W47a
10:36		H27a	P22a	R52a	U12a	V30a	W48a
10:48		H28b - H30b	P23a	R53a	U13a	V31b, V32b	-
11:00		H31b, H32b	-	-	U14a	-	-
11:12		-	-	-	U15b, U16b	-	-
11:00	ポスター						
12:00	昼休み						
	【天の川創成】	【高密度天体】	【星・惑星】	【銀河核】	【太 陽】	【地上観】	【飛翔観】
13:00	A10a } A17a	H33a	P24b - P26b	S01a	M01a	V35b - V37b	W49a
13:12		H34a	P27a	S02a	M02a	V38b - V40b	W50b, W51b, W54b
13:24		H35a	P28a	S03a	M03a	V41a	W55b, W57b, W58b
13:36		H36a	P29a	S04a	M04a	V42a	W59b - W61b
13:48		H37a	P30a	S05a	M05a	V44a	W62b - W64b
14:00		H38a	P31a	S06a	M06a	V45b - V47b	W65b, W67b, W68b
14:12		H39a	P32a	S07b - S09b	M07a	V48b, V52b, V53b	W69a
14:24		H40a	P33a	S10b, S11b, S13b	M08a	V54b - V56b	W70b - W72b
14:36		H41b - H43b	P34a	S14b - S16b	M09b - M11b	V57a	-
14:48		H44b - H46b	P35b, P36b	S17b, S18b	M12b - M14b	V58a	-
15:00		-	-	-	M15b	V59b	-
15:00	天文教育フォーラム						
16:00	総会						
17:20	林忠四郎賞受賞記念講演						
18:30	懇親会						

口頭セッション 9月23日(木)

開始時刻	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場
	【大規模構造】	【高密度天体】	【星・惑星】	【銀河核】	【太 陽】	【地上観】	【飛翔観】
09 : 30	B01a } B15b	H47a	P38a	S19a	M16a	V60a	W73a
09 : 42		H48a	P39a	S20a	M17a	V61a	W74a
09 : 54		H49a	P40a	S21a	M18a	V62a	W75a
10 : 06		H50a	P41a	S22a	M19a	V63a	W76a
10 : 18		H51a	P42a	S23a	M20a	V65a	W77a
10 : 30		H52a	P43a	S24a	M21a	V66a	W78a
10 : 42		H53a	P44a	S25a	M22a	V67a	W79a
10 : 54		H54b - H56b	P45a	S26a	M23a	V68a	-
11 : 06		H59a	P46a	S27a	M24a	V69a	-
11 : 18		H60a	P47a	S28a	M25a	V70a	-
11 : 30		H61a	P48a	-	M26a	V71a	-
11 : 42		-	-	-	-	V72a	-
11 : 30	ポスター						
12 : 30	昼休み						
	【大規模構造】	【高密度天体】	【星・惑星】	【銀河核】	【太 陽】	【地上観】	
13 : 30	B16a } B36a	H63a	P49a	S29a	M27a	V73a	
13 : 42		H64a	P50a	S30a	M28a	V74a	
13 : 54		H65a	P51a	S31a	M29a	V75a	
14 : 06		H66a	P52a	S32a	M30a	V76a	
14 : 18		H67a	P53a	S33a	M31a	V77a	
14 : 30		H68a	P54a	-	M32a	V78a	
14 : 42		-	P55a	-	M33a	V79a	
14 : 54		-	P56a	-	-	V80a	
15 : 06		-	P57a	-	-	V81a	
15 : 18		-	P58a	-	-	-	

ポスターセッション 9月21日(火) ~ 9月23日(木)

〈会場 P 1〉

【高密度天体】(25)

H12b	H13b	H14b	H15b	H16b
H17b	H18b	H28b	H29b	H30b
H31b	H32b	H41b	H42b	H43b
H44b	H45b	H46b	H54b	H55b
H56b	H57c	H58c	H62c	H69c

【太陽】(7)

M09b	M10b	M11b	M12b	M13b
M14b	M15b			

【恒星】(15)

N04b	N05b	N06b	N07c	N08b
N09b	N10b	N11b	N12b	N13b
N26c	N27c	N28c	N29c	N30c

【天文教育・他】(14)

Y02c	Y04b	Y05b	Y06b	Y07b
Y08b	Y09b	Y10c	Y11c	Y12c
Y14b	Y15b	Y16c	Y17c	

【ジュニアセッション】

〈会場 P 2〉

【天の川創成】(1)

A18c

【大規模構造】(16)

B02b	B03b	B04c	B13b	B14b
B15b	B18b	B20c	B21c	B22c
B23c	B25b	B26b	B27b	B29c
B30c				

【銀河】(28)

R03b	R04b	R05b	R06c	R07b
R08b	R09b	R10b	R11b	R12b
R13b	R14b	R15b	R16b	R17b
R18b	R19b	R20b	R21b	R22b
R23b	R24b	R37b	R38b	R39b
R40b	R41b	R42b		

【活動銀河核】(12)

S07b	S08b	S09b	S10b	S11b
S12c	S13b	S14b	S15b	S16b
S17b	S18b			

【銀河団】(9)

T01b	T02b	T03b	T04b	T05b
T06b	T07b	T08b	T09c	

【宇宙論】(6)

U02c	U03c	U05c	U15b	U16b
U17c				

【PDL】

【最新情報コーナー】

〈会場 P 3〉

【彗星物質】(5)

D03b	D09b	D10b	D15c	D16c
------	------	------	------	------

【天体力学】(1)

K01b

【太陽系】(4)

L04b	L05b	L06b	L07b	
------	------	------	------	--

【星・惑星形成】(25)

P01b	P02b	P03b	P04b	P05b
P06b	P07b	P08b	P09b	P10b
P11b	P12b	P13b	P14b	P15b
P16b	P17b	P18b	P19c	P24b
P25b	P26b	P35b	P36b	P37c

【星間現象】(13)

Q01b	Q02b	Q03b	Q04b	Q05b
Q06b	Q07b	Q08b	Q09b	Q10c
Q11b	Q12b	Q13b		

〈会場 P 4〉

【地上観測機器】(47)

V02b	V03b	V04b	V05b	V06b
V07b	V08b	V09b	V10b	V11b
V12b	V13b	V14b	V15b	V19b
V20b	V21b	V22b	V23b	V24b
V26c	V28c	V31b	V32b	V33c
V34c	V35b	V36b	V37b	V38b
V39b	V40b	V43c	V45b	V46b
V47b	V48b	V49c	V50c	V51c
V52b	V53b	V54b	V55b	V56b
V59b	V64c			

〈会場 P 5〉

【飛翔体観測機器】(42)

W04c	W06b	W07b	W08b	W09c
W10c	W11b	W12b	W13b	W20b
W21b	W25b	W26b	W27b	W28b
W29b	W30b	W37b	W38b	W39b
W50b	W51b	W52c	W53c	W54b
W55b	W56c	W57b	W58b	W59b
W60b	W61b	W62b	W63b	W64b
W65b	W66c	W67b	W68b	W70b
W71b	W72b			

A. 天の川創成プロジェクト

9月22日(水) 午前・A会場		9月22日(水) 午後・A会場	
09:00	A01a 天の川創成プロジェクト 和田桂一(国立天文台)	13:00	A10a 銀河形成時における超新星爆発の影響 森 正夫(専修大学)
09:08	A02a 宇宙モデルと銀河形成 吉田直紀(名古屋大学)	13:20	A11a GRAPE-DR プロジェクトの概要 牧野淳一郎(東京大学)
09:20	A03a CDM 宇宙に於ける銀河と銀河系の形成 長島雅裕(京都大学)	13:32	A12a 次世代多体シミュレーション専用計算機 GRAPE-7 の開発 福重俊幸(東京大学)
09:40	A04a 超高分解能銀河形成シミュレーション 斎藤貴之(国立天文台)	13:44	A13a AMR/V 体コードの現状 矢作日出樹(国立天文台)
09:52	A05a 銀河系の進化を化学的力学的に解明する 小林千晶 (Max-Planck-Institute for Astrophysics)	13:56	A14a 適合格子法による高解像度流体計算 小川智也(情報通信研究機構)
10:12	A06a 銀河系古成分の化学動力学構造 千葉証司(東北大学)	14:08	A15a 銀河系バルジの内部構造 西山正吾(名古屋大学)
10:24	A07a Li6 から探る天の川銀河形成時の散逸過程 鈴木 建(京都大学)	14:20	A16a 2MASS カタログから決めた銀河系バルジの軸比と傾き 中田好一(東京大学)
10:36	A08a 銀河形成シミュレーションにおけるSPHの問題点とその改良 岡本 崇(University of Durham)	14:32	A17a 一酸化珪素メーザー源の視線速度から得られる銀河円盤のパターン速度 出口修至(国立天文台)
10:56	A09a 輻射フィードバックの銀河形成への影響とそのモデル化 須佐 元(立教大学)		A18c Formation of disk galaxies in a Λ CDM universe 岡本 崇(University of Durham)

B. 宇宙の大規模構造の形成と進化

9月23日(木) 午前・A会場			
09:30	B01a 大規模構造形成の理論的課題 北山 哲 (東邦大学)	11:41	B13b Subaru Deep Field における $z \sim 4-5$ の Lyman-break 銀河の測光的性質 吉田真希子 (東京大学)
09:54	B02b N 体計算による原始銀河団の研究 諏訪多聞 (北海道大学)	11:45	B14b Ly α Emitters at $z = 6.6$ in the Subaru Deep Field 谷口義明 (東北大学)
09:58	B03b Large Scale Structure in High- z Universe and Cosmic Background Fluctuation in the IR to Millimeter 榎 基宏 (国立天文台)	11:49	B15b Suprime-Cam/UKIDSS DXS 10 平方度サーベイ：計画の概要と進捗 山田 亨 (国立天文台)
	B04c 宇宙の大規模構造の大規模シミュレーション 吉田直紀 (名古屋大学)	9月23日(木) 午後・A会場	
10:02	B05a 宇宙再電離時期における構造形成 廣居久美子 (筑波大学)	13:30	B16a PISCES プロジェクトから探る宇宙大規模構造の発展と銀河進化の連携 児玉忠恭 (国立天文台)
10:26	B06a ガンマ線バーストから見た初期宇宙 $z \sim 15$ の世界 村上敏夫 (金沢大学)	13:54	B17a HST・COSMOS から探る宇宙大規模構造の進化－オーバービュー 谷口義明 (東北大学)
10:36	B07a 赤外宇宙背景放射の観測から $z \sim 10$ における宇宙の構造形成を探る 松本敏雄 (宇宙航空研究開発機構)	14:04	B18b Mapping the COSMOS Field 塩谷泰広 (東北大学)
10:46	B08a The Direct Detection of CDM Filament by Diffuse Ly α Line 小林正和 (京都大学)	14:08	B19a COSMOS Field における Weak Lensing Survey: ACS と Suprime-Cam の比較 宮崎 聡 (国立天文台)
10:56	B09a すばる望遠鏡による銀河サーベイ：15年後へのロードマップ 家 正則 (国立天文台)		B20c Suprime-Cam Observations of the COSMOS Field 安食 優 (東北大学)
11:11	B10a Subaru/XMM-Newton Deep Survey (SXDS) 関口和寛 (国立天文台)		B21c Optical Identifications of X-ray and Radio Sources in the COSMOS Field 村山 卓 (東北大学)
11:21	B11a Clustering of Distant Galaxies in SXDS: Evolution from $z=4$ to 1 山田 亨 (国立天文台)		B22c Low-Luminosity Quasar Survey in the COSMOS Field 村山 卓 (東北大学)
11:31	B12a すばる-XMM ディープサーベイ領域における X 線源の空間分布と大規模構造 上田佳宏 (宇宙航空研究開発機構)		B23c Galaxy threshing system in the COSMOS Field 佐々木俊二 (東北大学)
		14:18	B24a Weak lensing survey で探る大規模構造形成 浜名 崇 (国立天文台)

C. 銀河団のクーリングフロー問題

		9月21日(火) 午後・A会場
14:28	B25b SWANS — The Subaru Wide-Field AGN Survey 長尾 透 (アルチェトリ天文台)	14:30 C01a クーリングフロー問題とその磁気流体的な意味 牧島一夫 (東京大学)
14:32	B26b すばる望遠鏡による、 $z=1.1$ QSO group に付随する大規模構造探索の現状 田中 亨 (東北大学)	14:51 C02a XMM-Newton による銀河団中心部の観測 田村隆幸 (宇宙航空研究開発機構)
14:36	B27b RCS2 による遠方銀河団の探索 川崎 渉 (ASIAA)	15:02 C03a 「クーリングフロー」銀河団のプラズマの温度構造 高橋 勲 (東京大学)
14:40	B28a Culling K-band Luminous, Massive Star-forming Galaxies at $z \simeq 2$ 有本信雄 (国立天文台)	15:13 C04a Chandra 衛星による銀河団中心部のX線観測 川埜直美 (広島大学)
	B29c Near Infrared Spectroscopy of $z \sim 2$ Massive Star-Forming Galaxies in the EIS Deep 3a Field 小野寺仁人 (東京大学)	15:24 C05a 銀河団冷却流抑止機構を巡る理論的問題 高原文郎 (大阪大学)
	B30c Culling proto-ellipticals in the EIS Deep3a by SUBARU/VLT Kong, Xu (NAOJ)	15:42 C06a 銀河団ガスの放射冷却と温度プロフィール 政井邦昭 (東京都立大学)
14:50	B31a SSA22 $z=3.1$ 大規模構造における $\text{Ly}\alpha$ emitter (LAE) 2 体角度相関 山内良亮 (東北大学)	15:53 C07a 新津波モデル 藤田 裕 (国立天文台)
15:00	B32a SDSS 銀河のクラスタリング 加用一者 (名古屋大学)	16:04 C08a 暗黒物質ニュートラリーノの対消滅による銀河団ガス加熱 戸谷友則 (京都大学)
15:10	B33a SDSS クエーサーで探る宇宙の大規模構造 矢幡和浩 (東京大学)	16:15 C09a 宇宙の大規模構造形成におけるクーリングフロー問題 吉川耕司 (東京大学)
15:20	B34a ASTRO-F による黄極周辺領域の銀河ディープサーベイ 松原英雄 (宇宙航空研究開発機構)	16:26 C10a 磁気リコネクションによる銀河団高温ガスの加熱の可能性 田沼俊一 (京都大学)
15:30	B35a ASTRO-F による銀河の遠赤外線線全天サーベイ観測 中川貴雄 (宇宙航空研究開発機構)	16:37 C11a 熱伝導を含めた銀河団プラズマ加熱のMHD数値実験 浅井直樹 (千葉大学)
15:40	B36a ハッブル後継機 HOP と超広視野カメラ 常田佐久 (国立天文台)	

D. 彗星物質の起源

9月21日(火) 午前・E会場			
10:00	D01a 彗星の結晶質シリケート ―何が問題か― 渡部潤一 (国立天文台)	11:51	D12a ぐんま天文台 65cm 望遠鏡による彗星の可視分光サーベイ (II) 浜根寿彦 (県立ぐんま天文台)
10:12	D02a 結晶化度から熱史を探る方法 山本哲生 (北海道大学)	12:03	D13a Photometric and Spectroscopic Observations of Comet C/2002 T7 (LINEAR) 井垣潤也 (兵庫県立大学)
10:24	D03b 彗星内結晶化ダストの起源 中本泰史 (筑波大学)	12:15	D14a Seasonal variation (?) in the near-IR color of Centaurs object 5145 Pholus 高遠徳尚 (国立天文台)
10:29	D04a T Tauri 型星周円盤における Dust Processing と彗星の起源 本田充彦 (東京大学)		D15c 西はりま天文台彗星観測チーム (NICOT) の活動 森 淳 (西はりま天文台公園)
10:41	D05a ニート彗星 (C/2001 Q4) の中間赤外線分光観測: 彗星コマ中塵粒子の組成とサイズ分布 大坪貴文 (名古屋大学)		D16c H ₂ CO 氷表面への水素原子付加反応による CH ₃ OH 生成; 氷膜厚・氷温度依存性 白木隆裕 (北海道大学)
10:53	D06a C/2001 Q4 (NEAT) 彗星および C/2002 T7 (LINEAR) 彗星のIバンド可視偏光撮像観測 古荘玲子 (早稲田大学)		
11:05	D07a Plasma Poynting-Robertson Effect for Interplanetary Dust 湊 哲則 (北海道大学)		
11:17	D08a 実験で探る彗星分子の起源: CO 分子進化 渡部直樹 (北海道大学)		
11:29	D09b CO 分子への水素原子付加反応―表面組成の影響― 長岡明宏 (北海道大学)		
11:34	D10b CO-H ₂ O 氷表面への水素逐次付加反応の同位体効果 日高 宏 (北海道大学)		
11:39	D11a C/2001 Q4 (NEAT) 彗星における近赤外高分散分光観測: メタン分子の核スピン温度と D/H 比 河北秀世 (県立ぐんま天文台)		

H. 高密度天体

9月21日(火) 午後・B会場			
14:30	H01a 重力レンズ方程式の妥当性 米原厚憲 (東京大学)	16:42	H12b 4U 1630-47 における降着円盤の光度と内縁での温度との関係 須藤敬輔 (立教大学)
14:42	H02a XTE J1650-500 アウトバースト初期の標準降着円盤の発達 伊藤 健 (東京大学)	16:42	H13b 自己重力を考慮に入れた大質量降着円盤モデル 松葉龍一 (熊本大学)
14:54	H03a SS433 による放射の異方性についての検証 平栗慎也 (東京大学)	16:42	H14b マイクロクエーサー LS5039 の測光と解釈 道頭健一 (大阪教育大学)
15:06	H04a 近傍渦巻銀河 IC342 中の超光度天体の XMM-Newton による観測 久保田あや (理化学研究所)	16:54	H15b 降着円盤上に形成されたホットリングの光度曲線解析 川田明寛 (大阪教育大学)
15:18	H05a 長時間 MACHO 天体の X 線観測 前田良知 (宇宙航空研究開発機構)	16:54	H16b コンプトン冷却過程を考慮した降着円盤の状態変化 渡会兼也 (大阪教育大学)
15:30	H06a 4U1630-47 の high state における降着円盤の 3 状態と QPO 阿部由紀子 (広島大学)	16:54	H17b GRS 1915+105 の低温ガスによる散乱モデルでの解釈 大川洋平 (立教大学)
15:42	H07a Warp による円盤振動の励起: HFQPOs のモデル 加藤正二 (奈良産業大学)	17:06	H18b Diskline の有無は、どこまで Astro-E2 で検証できるか? 根来 均 (日本大学)
15:54	H08a 超臨界降着流の 2 次元輻射流体シミュレーション 大須賀 健 (立教大学)		
16:06	H09a らくらく相対論: 擬ニュートンポテンシャルへの補正と応用例 福江 純 (大阪教育大学)	9月22日(水) 午前・B会場	
16:18	H10a 降着円盤からのファンネルフロー型磁気タワージェットの噴出 加藤成晃 (京都大学)	09:00	H19a X 線フラッシュ 030723 の残光中に発見された増光の超新星モデル 富永 望 (東京大学)
16:30	H11a Be/X 線連星系における降着円盤の長時間進化 早崎公威 (北海道大学)	09:12	H20a ニュートリノ輸送流体力学計算による超新星爆発: バウンス後の振る舞い 住吉光介 (沼津工業高等専門学校)
		09:24	H21a 回転星コアのブラックホールへの重力崩壊に対する数値一般相対論的解析 関口雄一郎 (東京大学)

		9月22日(水)午後・B会場	
09:36	H22a 磁場、回転を伴う重力崩壊型超新星爆発 澤井秀朋 (早稲田大学)	13:00	H33a 超新星における Si 同位体比 吉田 敬 (東北大学)
09:48	H23a 強磁場超新星における衝撃波 滝脇知也 (東京大学)	13:12	H34a 巨大質量星の爆発・元素合成と中間質量ブラックホールの起源 大久保琢也 (東京大学)
10:00	H24a 強磁場超新星における非対称ニュートリノ放射とパルサーキック 固武 慶 (東京大学)	13:24	H35a ガンマ線バースト降着円盤から放出される円盤風の重元素組成 藤本信一郎 (熊本電波高専)
10:12	H25a 大質量星内部における MHD 不安定性と角運動量輸送 政田洋平 (大阪大学)	13:36	H36a 超新星 r 過程元素合成における中性子過剰率の効果 和南城伸也 (上智大学)
10:24	H26a 非球対称な Ic 型超新星爆発における外層の加速 中村 航 (東京大学)	13:48	H37a Neutrino-driven winds での軽い r-process 元素合成 富沢奈美 (上智大学)
10:36	H27a 爆発後数百年の Ia 型超新星残骸に含まれる Fe I による吸収 尾崎 仁 (東京大学)	14:00	H38a Neutrino-driven wind での r-process 元素合成における α -effect 浅原亮平 (上智大学)
10:48	H28b 強磁場中のニュートリノ相互作用による pulsar kick への示唆 安藤真一郎 (東京大学)	14:12	H39a 中性子星から吹くニュートリノ風への磁場の影響 伊藤裕貴 (早稲田大学)
10:48	H29b Ia 型超新星爆発における爆轟波伝播 小林幸司 (大阪大学)	14:24	H40a Ia 型超新星爆発での p 過程元素合成 日下部元彦 (東京大学)
10:48	H30b ニュートリノ振動と観測される超新星ニュートリノイベント 吉原一久 (東京理科大学)	14:36	H41b ジェットの超新星爆発下での r-process 元素合成 西村 直 (九州大学)
11:00	H31b 超新星爆発の断熱崩壊モデルとニュートリノ振動 川越至桜 (東京理科大学)	14:36	H42b ビデオ常時観測 (TOTO) によるガンマ線バーストの光学閃光探査 大西浩次 (国立長野高専)
11:00	H32b 多色 Stretch 法を用いた遠方 Ia 型超新星の距離決定法 高梨直紘 (東京大学)	14:36	H43b 回転星の重力崩壊によるガンマ線バーストの一般相対論的 MHD シミュレーション: ブラックホールの回転の効果 水野陽介 (京都大学)

14:48	H44b HETE-2 衛星による軟ガンマ線リ ピータの観測 前當未来 (青山学院大学)	10:54	H54b 低質量 X 線連星パルサー GX 1+4 の 準周期的時間変動の研究 幸村孝由 (工学院大学)
14:48	H45b ヘビ使い座新星 V2574 Ophiuchi の 多色測光ならびに分光観測 田辺健茲 (岡山理科大学)	10:54	H55b 乱れた磁場を考慮に入れた Crab Nebula の X 線偏光 中村雄史 (山形大学)
14:48	H46b SU UMa 型矮新星 1RXPJ113123+4322.5 の superhump の検出及び周期解析 小泉充男 (岡山理科大学)	10:54	H56b 高密度ガスに対する磁気流体力学方 程式の近似 Riemann 解法 佐藤裕司 (千葉大学)
9 月 23 日 (木) 午前・B 会場			H57c 降着中性子星における Superburst の現実的モデル 安武伸俊 (九州大学)
09:30	H47a 中性子星の慣性振動モードに対する 双極磁場の影響 李 うみん (東北大学)		H58c パルサー、カメレオン説 (新仮説) 林 純一
09:42	H48a 相対論的な高速回転星の r- モード : Cowling 近似による解析 吉田至順 (早稲田大学)	11:06	H59a 古典新星の Premaximum Halt を解 明する 蜂巢 泉 (東京大学)
09:54	H49a X 線連星 Vela X-1 の X 線分光観測 と天体モンテカルロシミュレータ 渡辺 伸 (宇宙航空研究開発機構)	11:18	H60a 白色矮星上のヘリウムシェルフラッ シュのさいの質量放出 加藤万里子 (慶応大学)
10:06	H50a 電子 - 陽電子プラズマ中での相対論 的無衝突衝撃波による波乗り粒子加 速 永田健太郎 (大阪大学)	11:30	H61a 矮新星 WZ Sge の 2001 年の爆発で 質量輸送率の増加はあったか? 尾崎洋二 (東京大学)
10:18	H51a かに星雲の新しい描像に向かって II 柴田晋平 (山形大学)		H62c ヘビつかい座新星 V2574 Oph の多 色測光観測による光度変化 田島由起子 (ちはや星と自然のミュージアム)
10:30	H52a γ 線パルサーの 2 次元 outer-gap モ デル : γ 線スペクトル 高田順平 (山形大学)		
10:42	H53a Anomalous X-ray Pulsar 4U 0142+61 の近赤外、可視光、及び X 線同時観測 森井幹雄 (宇宙航空研究開発機構)		

K. 天体力学

9月23日(木) 午後・B会場		9月21日(火) 午後・E会場	
13:30	H63a HETE 2 衛星の観測運用状況—2004年春から現在まで 河合誠之 (東京工業大学)	15:18	K01b 木星と1:1平均運動共鳴にある小惑星の臨界指数 中井 宏 (国立天文台)
13:42	H64a HETE-2 衛星が観測したガンマ線バーストの本体と残光の関係 鈴木素子 (東京工業大学)	15:30	K02a 連星系のパラメータ決定公式の発見 浅田秀樹 (弘前大学)
13:54	H65a A Possible Origin of Bimodal Distribution of Gamma-Ray Bursts 当真賢二 (京都大学)	15:42	K03a 太陽系外惑星系における古在メカニズム 木下 宙 (国立天文台)
14:06	H66a ガンマ線バーストの統一モデル 山崎 了 (大阪大学)		
14:18	H67a ガンマ線バースト統一モデルの観測からの検証 浦田裕次 (理化学研究所 / 東京工業大学)		
14:30	H68a 連星中性子星合体に対するガンマ線バースト観測からの示唆 安藤真一郎 (東京大学)		
	H69c ガンマ線バースト頻度と high-z での頻度分布 松林達史 (理化学研究所 / 東工大)		

L. 太陽系

M. 太陽

9月21日(火) 午後・E会場		9月22日(水) 午後・E会場	
14:30	L01a 2003年の火星：2つの共同観測の総括的報告(続) 中串孝志(京都大学)	13:00	M01a 磁場方位角はチャンと測られているか？ 牧田 貢(京都大学)
14:42	L02a しし座流星ダストにおける金属元素の物質進化について 春日敏測(総合研究大学院大学)	13:12	M02a 活動領域のH α Stokes V/I profile と彩層磁場 花岡庸一郎(国立天文台)
14:54	L03a Subaru spectroscopy of new-born asteroid Karin; Presence of mature and fresh surfaces 佐々木貴教(東京大学)	13:24	M03a 磁束の大きさと磁気ヘリシティ入射の関係について 山本哲也(東京大学/国立天文台)
15:06	L04b 高速不変埋め込み法による偏光多重散乱計算 川端 潔(東京理科大学)	13:36	M04a 太陽コロナにおけるフィラメントのダイナミクスに関する3次元非線形シミュレーション研究 井上 諭(広島大学)
15:06	L05b 岡山天体物理観測所における木星衛星イオ起源ナトリウム原子の高分散分光観測 青井一紘(東北大学)	13:48	M05a 太陽対流層における磁気浮力不安定の3次元MHDシミュレーション 野澤 恵(茨城大学)
15:06	L06b 木星衛星イオ周辺でのマスローディング 鍵谷将人(東北大学)	14:00	M06a 浮上磁場のレイリー・テイラー不安定と3次元リコネクション 磯部洋明(京都大学)
15:18	L07b すばるCOMICSによる遠赤外線・サブミリ波測光標準星候補小惑星の中間赤外観測 藤原英明(東京大学)	14:12	M07a 捻れ浮上磁束管と黒点上空磁場の磁気リコネクション及び波動発生過程 宮腰剛広(京都大学)
		14:24	M08a The dynamical properties of blinkers observed in the EUV and H α Brooks, D. H. (京都大学)
		14:36	M09b SOHO/CDSによる太陽ジェットの高温度構造の研究 下条圭美(国立天文台)
		14:36	M10b フレアの硬X線フットポイントでみる放射領域の性質と加速電子のスペクトルII 佐藤 淳(名古屋大学)
		14:36	M11b フレアでトリガされた多重コロナループの振動(その2) 堀 久仁子(情報通信研究機構)

14:48	M12b 磁気シア反転領域におけるシグモイド構造の自己組織化 草野完也 (広島大学)	10:54	M23a Yohkoh 衛星で観測された硬 X 線フレアのパラメータ依存性について 簗島 敬 (東京大学)
14:48	M13b 磁気ヘリシティ入射と浮上速度場 桜井 隆 (国立天文台)	11:06	M24a コロナ質量放出に伴う衝撃波の構造と dimming 発生のメカニズムについて 塩田大幸 (京都大学)
14:48	M14b 3 次元シミュレーションによる惑星間空間衝撃波予測システム 田 光江 (情報通信研究機構)	11:18	M25a コロナガス噴出に伴う高速太陽風の微細構造 片岡剛峰 (情報通信研究機構)
15:00	M15b 太陽活動総合観測システム搭載の Fabry-Perot フィルター性能 森本太郎 (京都大学)	11:30	M26a リム CME の加速度を用いた 20 太陽半径以内の背景太陽風速の推定 中川朋子 (東北工業大学)
9 月 23 日 (木) 午前・E 会場		9 月 23 日 (木) 午後・E 会場	
09:30	M16a 太陽外層における高周波音波の走時曲線の二重構造について 関井 隆 (国立天文台)	13:30	M27a フレア初期発光と光球面磁気シアー構造との相関について 真栄城朝弘 (広島大学)
09:42	M17a 南北両半球の活動領域をつなぐ大規模磁気ループの形成に関する問題点 横山正樹 (名古屋大学)	13:42	M28a 2001 年 4 月 10 日のフレアにおける、red-asymmetry の研究 浅井 歩 (京都大学)
09:54	M18a 自己相似モデルにおけるリコネクションレートのパラメータ依存性 新田伸也 (総合研究大学院大学)	13:54	M29a Transition region down flows in the impulsive phase of flares 神尾 精 (京都大学)
10:06	M19a リコネクションジェット先端領域における不安定についての研究 丹所良二 (東京工業大学)	14:06	M30a 軟 X 線で観測された reconnection inflow の発見 成影典之 (京都大学)
10:18	M20a フレアの基礎物理 III: シア磁場での電場加速 平山 淳 (明星大学)	14:18	M31a カスプ型フレアの発生条件 岡本文典 (京都大学)
10:30	M21a マイクロ波バースト強度のゆらぎ 柴崎清登 (国立天文台)	14:30	M32a Masuda 型フレアの統計的研究 清水雅樹 (京都大学)
10:42	M22a フレアループ上空に放出されたプラズマ塊中の非熱的電子 増田 智 (名古屋大学)	14:42	M33a Impulsive フレアの 2.5 次元 MHD 数値シミュレーション 西田圭佑 (京都大学)

N. 恒星

9 月 21 日 (火) 午前・F 会場					
10:00	N01a	金属欠乏星データベースの開発と組成の分析 須田拓馬 (北海道大学)	11:00	N13b	食連星 U Sge の主極小における偏光分光観測 岡崎 彰 (群馬大学)
10:12	N02a	超金属欠乏星における中性子捕獲反応過程 西村高德 (北海道大学)	11:12	N14a	近接連星系における降着円盤の輻射輸送を含んだ 3 次元数値計算 佐藤潤一 (筑波大学)
10:24	N03a	超金属欠乏領域における硫黄組成の振る舞い: 予備的結果 比田井昌英 (東海大学)	11:24	N15a	Be/X 線連星からの可視光放射の時間変動 (2) 岡崎敦男 (北海学園大学)
10:36	N04b	金属欠乏星の亜鉛組成 (II) 齋藤雄二 (東海大学)	11:36	N16a	星震学における逆問題 柴橋博資 (東京大学)
10:36	N05b	化学特異星の Nd-Pr 表面温度効果 西村昌能 (洛東高校)	11:48	N17a	Wolf-Rayet 星の近赤外スペクトル解析 西巻祐一郎 (東京大学)
10:36	N06b	OGLE-TR 56 の高分散分光観測 大久保美智子 (京都大学)	12:00	N18a	Ursa Minor 矮小銀河の赤色巨星の高分散分光観測 II 定金晃三 (大阪教育大学)
	N07c	G 型巨星の恒星物理量と表面化学組成の分光学的決定 竹田洋一 (国立天文台)	12:12	N19a	褐色矮星の大気構造とその観測特性 XIII. L-T スペクトル分類の誤りにみるダストに汚染された天体のスペクトル解析の基本的問題 辻 隆 (東京大学)
10:48	N08b	近赤外分光観測による S,C 型星の分類 Ahmatjan, Letip (東京大学)			
10:48	N09b	星近傍における金属輝線の偏光プロフィールに見る VY CMa の星周構造 松田健太郎 (東北大学)	9 月 21 日 (火) 午後・F 会場		
10:48	N10b	Chandra 衛星による惑星状星雲からの X 線放射の観測 村島未生 (東京大学)	14:30	N20a	Oxygen-rich AGB 星周での dust 形成と構造 I 保田悠紀 (北海道大学)
11:00	N11b	重力レンズ効果と固有運動を利用した星の質量測定法 細川瑞彦 (情報通信研究機構)	14:42	N21a	うみへび座 U 星の 0.1pc 光学ダストシェル 泉浦秀行 (国立天文台)
11:00	N12b	衝突輻射モデルによる星の X 線スペクトルの解析 山本則正 (立教大学)	14:54	N22a	恒星ジェット天体 W43A に付随する一酸化珪素/水蒸気/水酸基メーザー源及びダスト連続波源 今井 裕 (鹿児島大学)

P. 星・惑星形成

9月22日(水) 午前・C会場	
15:06	N23a RV Tau 型変光星 R Scuti からの SiO メーザーの検出 山村一誠 (宇宙航空研究開発機構)
15:18	N24a 球状星団における一酸化硅素メーザ の発見 松永典之 (東京大学)
15:30	N25a 球状星団高密度コア内における恒星 間近接遭遇が恒星進化に及ぼす影響 山田志真子 (北海道大学)
	N26c 銀河系ハローおよび球状星団内惑星 状星雲の高分散分光観測 田実晃人 (国立天文台)
	N27c Magnitude variations of Vega- like stars among historical star catalogues 藤原智子 (九州大学)
	N28c RV Tau 型星の固有偏光成分の波長 依存性について 吉岡一男 (放送大学)
	N29c RV Tau 型変光星の測光・分光観測 による分類について 舩山隆志 (Universidad Nacional de Asuncion)
	N30c 散逸効果を含む磁気星風 斎藤泰通 (岩手大学)
09:00	P01b 星なし分子雲の近赤外撮像観測 森田淳子 (名古屋市立大学)
09:00	P02b 巨大分子雲 Vela C に対する近赤外線 撮像観測: 原始星の質量と空間分布 馬場大介 (名古屋大学)
09:00	P03b 星形成領域 NGC2264 の近赤外撮像 観測 白岩真弥 (神戸大学)
09:12	P04b りゅうこつ座巨大分子雲における分 子雲コアの統計的研究 米倉覚則 (大阪府立大学)
09:12	P05b 大質量星形成領域における高密度コ アの物理状態と進化の解明 齋藤弘雄 (国立天文台)
09:12	P06b ミリ波干渉計を用いた中質量原始星 候補天体の観測 高橋智子 (総合研究大学院大学)
09:24	P07b Newton-XMM 衛星 RGS による原始 星からのフレア観測 鬼形 愛 (中央大学)
09:24	P08b Chandra 衛星による M16 領域の X 線観測 岩本宙礼 (中央大学)
09:24	P09b Chandra X 線衛星による Chamaeleon I north cloud の観測 上條佳樹 (中央大学)
09:36	P10b 連鎖的星形成領域 BRC14 の電波観測 丹羽隆裕 (神戸大学)
09:36	P11b 原始星エンベロープ内での原始惑星 系円盤形成: L1551 IRS5 のミリ波 干渉計観測 横川創造 (神戸大学)
09:36	P12b 重力収縮する分子雲コアの回転と変形 釣部 通 (大阪大学)

		9月22日(水) 午後・C会場	
09:48	P13b 離心率のガス降着に与える影響について 越智康浩 (千葉大学/名古屋大学)	13:00	P24b 分子雲のフィラメント構造に宇宙線が及ぼす効果 桑原匠史 (千葉大学)
09:48	P14b 衝撃波加熱によるコンドリユール内部温度の非一様性 保田誠司 (筑波大学)	13:00	P25b 宇宙の第一世代星形成における磁場の散逸とHD分子冷却 牧 秀樹 (立教大学)
09:48	P15b 衝撃波加熱モデルにおけるコンドリユールの最大サイズ: 多孔質なダスト表面のはぎ取り効果 加藤貴昭 (筑波大学)	13:00	P26b 低金属度環境における星形成雲の熱・化学的進化 大向一行 (国立天文台)
10:00	P16b 前主系列星周囲に存在する伴星候補天体の検出 伊藤洋一 (神戸大学)	13:12	P27a 磁気乱流下で形成される分子雲の構造: 磁場強度と波長に対する依存性 杉本香菜子 (名古屋大学/千葉大学)
10:00	P17b T Tauri 型星の金属量と進化 田口優介 (神戸大学)	13:24	P28a 電離・解離領域の伝播と誘発的星形成 細川隆史 (京都大学)
10:00	P18b ドップラーシフト法による連星系の系外惑星探査 豊田英里 (神戸大学)	13:36	P29a 星形成領域 Cepheus B における広がったX線放射の検証 江副祐一郎 (宇宙航空研究開発機構)
	P19c SU Aur の近赤外コロナグラフ撮像 石井未来 (国立天文台)	13:48	P30a 分子雲の分裂条件 町田正博 (千葉大学)
10:12	P20a 岡山プラネットサーチプロジェクト: G型巨星の惑星探し 佐藤文衛 (神戸大学)	14:00	P31a 近接 T Tau 連星 V4046 Sagittari のガス降着モデル 安藤広一 (千葉大学)
10:24	P21a すばる/HDS による系外惑星 HD209458b の精密分光観測 II 成田憲保 (東京大学)	14:12	P32a Formation of Population III Binaries 西合一矢 (国立天文台)
10:36	P22a すばる望遠鏡 Suprime-Cam を用いたトランジット法による系外惑星探索 浦川聖太郎 (神戸大学)	14:24	P33a 新しい種属としての「星のない巨大分子雲」 福井康雄 (名古屋大学)
10:48	P23a Rossiter 効果を考慮した太陽系外惑星系の視線速度曲線の解析的表式 太田泰弘 (東京大学)	14:36	P34a 近赤外線で探る大マゼラン雲の N11 領域での星形成 門脇亮太 (名古屋大学)
		14:48	P35b 大マゼラン雲 30Dor 領域に分布する「青い近赤外超過天体」の正体 加藤大輔 (名古屋大学)
		14:48	P36b VSOP-2 でめざすサイエンスー星形成ー 梅本智文 (国立天文台)
			P37c 原始星 Sharpless140 IRS1 の水メーザーによるアストロメトリー 山下一芳 (鹿児島大学)

9月23日(木) 午前・C会場		9月23日(木) 午後・C会場	
09:30	P38a BEARS Star-Formation Project: Orion A 分子雲の H^{13}CO^+ ($J=1-0$) 観測 II 池田紀夫 (総合研究大学院大学)	13:30	P49a 乱流を考慮した原始惑星系円盤内での ダスト沈殿成長と SED 進化 田中秀和 (東京工業大学)
09:42	P39a オリオン星形成領域における前主系 列星の X 線放射の長期的時間変動 兵藤義明 (京都大学)	13:42	P50a 原始惑星系円盤の不安定性: ダスト 粒子成長・沈殿の影響 野村英子 (神戸大学)
09:54	P40a 原始星ジェットの構造と不安定性 上原一浩 (京都大学)	13:54	P51a 原始惑星系円盤におけるシアー不安 定性とダストの沈殿 石津尚喜 (国立天文台)
10:06	P41a LkH α 234 星形成領域における水メー ザー源のマルチエポック VLBI 観測 梅本智文 (国立天文台)	14:06	P52a 微惑星の形成過程 (1): 塵粒子層の ケルビンヘルムホルツ不安定の再解 析 道越秀吾 (京都大学)
10:18	P42a $\text{SiO } J=5-4$ in the HH 211 protostellar jet imaged with the SMA 平野尚美 (台湾中央研究院)	14:18	P53a 原始惑星系円盤の磁気乱流による電 離度の自己維持機構について: 惑星 形成の新たな舞台 犬塚修一郎 (京都大学)
10:30	P43a 増光天体 McNeil' s Nebula Object のミリ波観測 塚越 崇 (東京工業大学)	14:30	P54a 磁気リコネクションによる磁気回転 不安定の飽和過程 佐野孝好 (大阪大学)
10:42	P44a 野辺山 45m 鏡と NMA による原始星 L1448C, NGC1333 IRAS 4A の詳細 観測 黒野泰隆 (東京大学)	14:42	P55a 原始惑星系円盤内の固体微粒子塊内 部の浸透流と微惑星形成過程 関谷 実 (九州大学)
10:54	P45a CO の観測で見えてきた M17 領域シ ルエット天体の星周構造 酒向重行 (東京大学)	14:54	P56a 衝撃波加熱コンドリユール形成: 衝 撃波前面におけるダストの加熱速度 三浦 均 (筑波大学)
11:06	P46a 原始惑星系円盤の近赤外撮像観測 深川美里 (東京大学)	15:06	P57a 衝撃波加熱コンドリユール形成モデ ル: X 線フレアと膨張する磁気バブ ルによる円盤上層部での衝撃波生成 中本泰史 (筑波大学)
11:18	P47a 若い超低質量天体の星周円盤 田村元秀 (国立天文台)	15:18	P58a 動径方向の移動を考慮した原始惑星 形成 小南淳子 (東京工業大学)
11:30	P48a すばる/COMICS によるベガ型星 β Pic のシリケート空間分布の分解 2: 粒子供給している微惑星帯の性 質とシリケート結晶化メカニズム 岡本美子 (北里大学)		

Q. 星間現象

9月21日(火) 午前・C会場	
10:00	Q01b 近傍分子雲における減光則：コール サックグロビュール 直井隆浩（東京大学）
10:00	Q02b Polaris cirrus 中の分子雲コアのマル チライン観測 櫻井冬子（東京学芸大学）
10:00	Q03b DSS を利用した暗黒星雲アトラス・ カタログのデータベース化 土橋一仁（東京学芸大学）
10:12	Q04b 銀河中心領域の非熱的 X 線ノットの 系統的解析 千田篤史（京都大学）
10:12	Q05b 銀河中心電波アークに接する分子雲 G0.11-0.11 の高密度トレーサー分 子輝線の光学的厚さと熱的 SiO 輝線 半田利弘（東京大学）
10:12	Q06b 銀河面第一象限における分子雲の構 造と内部運動 澤田剛士（国立天文台）
10:24	Q07b 星間雲とそれを取り巻く弱電離プラ ズマを繋ぐ遷移層の安定性の解析 井上剛志（京都大学）
10:24	Q08b 星間物質の 3 相リミットサイクルモ デルにおける構造形成 福江 翼（京都大学）
10:24	Q09b 星間分子雲圧縮層における磁場構造 の発展 梅川通久（京都大学）
	Q10c 自己重力を考慮した輻射音響方程式 の導出 兼古 昇（北海道大学）
10:36	Q11b 星形成領域における GRB afterglow 期の赤外域放射 成本拓朗（京都大学）
10:36	Q12b X 線天文衛星 <i>Chandra</i> による超新星 残骸 SN 1006 南西部の詳細観測 馬場 彩（理化学研究所）
10:36	Q13b 宇宙線を考慮した磁気回転不安定性 の解析 大橋昌史（京都大学）
10:48	Q14a CANGAROO-II 望遠鏡による銀河中 心からの超高エネルギー γ 線検出 土屋兼一（東京大学）
11:00	Q15a CANGAROO-II 望遠鏡による超新星 残骸 RX J0852.0-4622 からの超高 エネルギー γ 線の検出 片桐秀明（京都大学）
11:12	Q16a CANGAROO-III 望遠鏡による超新星 残骸 RCW86 の TeV ガンマ線観測 渡部至緒（京都大学）
11:24	Q17a 超新星残骸 W28 からの X 線放射の 詳細解析 植野 優（京都大学）
11:36	Q18a 超新星残骸 RX J0852-4622 の X 線詳細観測 平賀純子（宇宙航空研究開発機構）
11:48	Q19a 銀河面サーベイデータを用いた SNR- 分子雲相互作用の系統的研究 (3) 森口義明（名古屋大学）
12:00	Q20a Weibel 不安定性のサチュレーショ ンメカニズム 加藤恒彦（国立天文台）
12:12	Q21a 球状星団に付随する広がった X 線放 射の検出 (2) ~ 銀河ハローとの相互 作用による加熱 / 加速現象の検出 ~ 岡田 祐（東京大学）
12:24	Q22a 星間物質のリミットサイクルモデル に対する銀河風の効果 釜谷秀幸（京都大学）

9月21日(火)午後・C会場			
14:30	Q23a 気相からのアルミナ粒子の生成と転移による赤外吸収スペクトルの変化 車田真実 (立命館大学)	16:42	Q34a 星間乱流の飽和とそのスケーリング則について 小山 洋 (神戸大学)
14:42	Q24a 低温におけるオリヴィン微粒子の中間赤外から遠赤外スペクトルの温度効果 小池千代枝 (京都薬大)	16:54	Q35a 山口 32m による 6.7 GHz メタノールメーザのサーベイ観測 佐伯太郎 (山口大学)
14:54	Q25a Fe シリケートグレイン創製におけるプラズマ場効果 佐藤岳志 (立命館大学)		
15:06	Q26a 水素プラズマ照射によるケイ酸塩鉱物の構造変成 木村誠二 (電気通信大学)		
15:18	Q27a [Si II] 35 μ m の観測から探る星間ダスト破壊 岡田陽子 (東京大学)		
15:30	Q28a 大マゼラン雲における星間ダストの性質の研究 左近 樹 (東京大学)		
15:42	Q29a 輻射輸送計算による暗黒星雲の散乱光の見積もり I 福原和晴 (北海道大学)		
15:54	Q30a 宇宙初期の星間衝撃波によるダストの破壊 II 野沢貴也 (北海道大学)		
16:06	Q31a 多輝線マッピング観測で探るふたご座 S252 領域の物理・化学状態 久保井信行 (東京大学)		
16:18	Q32a λ - Orionis 領域に対する [Cl] ³ P ₁ - ³ P ₀ 輝線の観測 田中邦彦 (東京大学)		
16:30	Q33a 「なんてん」による速度禁止帯領域の分子ガスに対する ¹³ CO 輝線観測 山本宏昭 (名古屋大学)		

R. 銀河

9月21日(火) 午前・D会場			
10:00	R01a VERAによるW49N - OH43.8-0.1 メーザーペアの試験観測 本間希樹(国立天文台)	10:48	R11b Bar Dissolution in Three-Dimensional Disks Induced by Massive Central Black Holes 穂積俊輔(滋賀大学)
10:12	R02a VERAによるオリオン座・いっかく じゅう座分子雲複合体のH ₂ Oメー ザー源モニター観測 廣田朋也(国立天文台)	10:48	R12b 銀河中心領域に存在する天体分布の 比較による銀河進化の研究 平家憲(愛媛大学)
10:24	R03b W3OH水メーザーのVERAによる相 対VLBIモニター観測 亀谷 収(国立天文台)	11:00	R13b ASTEによるNGC 253の ¹² CO (J=3-2)輝線観測 中西康一郎(国立天文台)
10:24	R04b VERAによるIRAS16293-2422の相 対VLBI 中島廣一郎(鹿児島大学)	11:00	R14b 早期型円盤銀河のCOサーベイ観測 奥田武志(東京大学)
10:24	R05b 鹿児島大学 1 m 光・赤外線望遠鏡 観測状況報告 渡部裕貴(鹿児島大学)	11:00	R15b XMM-Newton 衛星によるM31のX 線源の観測 島田 悟(東京理科大学)
	R06c 一酸化珪素メーザー探査による銀河 系中心領域内部棒状構造の検証 藤井高宏(国立天文台)	11:12	R16b 楕円銀河のScaling Relationsと Fundamental Plane 小林千晶 (Max-Planck-Institute for Astrophysics)
10:36	R07b zバンドドリフトスキャン観測によ る銀河面 l=210° 方向のスターカウ ント 大藪進喜(東京大学)	11:12	R17b 可視光観測によるX線光度超過楕円 銀河の観測的研究 吉岡 努(名古屋大学)
10:36	R08b RXTEによる銀河面リッジX線放射 分布の解析 高橋拓也(広島大学)	11:12	R18b Environmental Effect on Gaseous Disks of the Virgo Spirals 中西裕之(東京大学)
10:36	R09b 近傍銀河のバルジとディスクの色と 質量光度比の研究 吉野 彰(国立天文台)	11:24	R19b 大小マゼラン衝突史とマゼラン雲流 II 沢 武文(愛知教育大学)
10:48	R10b 棒渦巻銀河Maffei 2のバー領域の分 子ガスの干渉計モザイク観測 俣俣和夫(北海道大学)	11:24	R20b 局所銀河群の構造と起源 II 沢 武文(愛知教育大学)
		11:24	R21b 相互作用銀河Mrk 266のライナー核 におけるアウトフロー 石垣 剛(北海道大学)

9月21日(火) 午後・D会場	
11:36	R22b 多重像クエーサーの中間赤外撮像に基づく冷たい暗黒物質の性質 千葉柊司 (東北大学)
11:36	R23b Galaxy Structures and External Perturbations in Gravitational Lenses 川野羊三 (名古屋大学)
11:36	R24b PC クラスタ用超低レイテンシ通信ライブラリの開発と性能評価 似鳥啓吾 (東京大学)
11:48	R25a ALMA で探るダークマターの微細構造 井上開輝 (近畿大学)
12:00	R26a XMM-Newton 衛星による楕円銀河の重力質量分布 田辺郁美 (文部科学省)
12:12	R27a 非一様化学進化を考慮した SPH 法による銀河進化モデル 中里直人 (理化学研究所)
14:30	R28a 相互作用銀河 NGC 6090 の爆発的星形成領域における大規模スケールでの急速な金属量増大 菅井 肇 (京都大学)
14:42	R29a Measurement of the bar pattern speed in barred spiral galaxies 廣田晶彦 (東京大学)
14:54	R30a SDSS DR2 を用いた銀河の棒状構造の解析 神川えりか (東北大学)
15:06	R31a X 線天体の光度関数を用いた銀河系バルジの研究 森 英之 (宇宙航空研究開発機構)
15:18	R32a 銀河における星形成率の局所依存性 小麦真也 (東京大学)
15:30	R33a M 31 disk 領域における GMA の内部構造 齋崎智佳 (県立ぐんま天文台)
15:42	R34a 渦状銀河におけるスパー構造形成の磁気流体数値実験 田中 実 (千葉大学)
15:54	R35a 矮小銀河サイズサブハローの形成と進化 加瀬啓之 (東京大学)
16:06	R36a 矮小楕円銀河から ω 星団へ II 出田 誠 (国立天文台)
16:18	R37b 銀河の星形成史に応じたダストのサイズ分布 田尻愉香 (東京大学)
16:18	R38b SPITZER 宇宙望遠鏡による銀河サーベイとすばる望遠鏡で探る銀河進化 松原英雄 (宇宙航空研究開発機構)

16:18	R39b An i' Dropout-Selected Lyman-alpha Emitter at $z=6.33$ in SDF 長尾 透 (アルチエトリ天文台)	10:00	R49a クエーサー光度と X 線光子指数の Fe II/Mg II への影響 続 唯美彦 (東京大学)
16:30	R40b $z=6.6$ Ly α 輝線銀河の近赤外線撮像 本原顕太郎 (東京大学)	10:12	R50a HDF-N 領域の銀河の恒星質量に対する色、形態分布の進化 鍛冶澤 賢 (国立天文台)
16:30	R41b Lyman Break Galaxies at $z=5$: Updated UV Luminosity Function 岩田 生 (国立天文台)	10:24	R51a Subaru Deep Field 銀河の形態進化 小西真広 (東北大学)
16:30	R42b Lyman Break Galaxies at $z=5$: UV-optical colors 太田耕司 (京都大学)	10:36	R52a Subaru Super Deep Field における初期成果: $K' < 25$ での銀河計数、サイズ光度関係 美濃和陽典 (東京大学)
16:42	R43a 宇宙初期の星形成による始原ガス分子輝線放射の観測可能性 水澤広美 (新潟大学)	10:48	R53a すばる PISCES プロジェクト: $z < 1$ における銀河色 - 等級関係の進化とその環境依存性 田中賢幸 (東京大学)
9 月 22 日 (水) 午前・D 会場			
09:00	R44a SSA22 $z=3.1$ Ly α で輝く大規模構造 林野友紀 (東北大理)		
09:12	R45a すばる OHS によるサブミリ銀河の近赤外分光観測 高田唯史 (国立天文台)		
09:24	R46a ASTRO-F 黄極ディープサーベイ領域の地上プレサーベイ 和田武彦 (宇宙航空研究開発機構)		
09:36	R47a 超新星の深探査から宇宙の星形成史に迫る 織田岳志 (京都大学)		
09:48	R48a QSO スペクトルにおける FeII/MgII 測定法の評価 松岡良樹 (東京大学)		

S. 活動銀河核

9月22日(水)午後・D会場		
13:00	S01a 我銀河系及び M31 銀河中心部・超巨大ブラックホール群からの DAM 電波パルス源の方位決定 大家 寛 (福井工業大学)	14:24 S11b XMM-Newton を用いた Seyfert2 型銀河の時間変動の研究 村上博克 (愛媛大学)
13:12	S02a CO 回転振動遷移の吸収線を用いた AGN 分子トーラスの直接観測 白旗麻衣 (宇宙航空研究開発機構)	S12c 超広帯域実時間 V L B I 観測による短時間変動 AGN の観測 藤沢健太 (山口大学)
13:24	S03a 5 pc の分解能で観測された NGC 1068 中心核周囲のダスト分布 友野大悟 (国立天文台)	14:24 S13b GPS 天体 CTD93 のホットスポットの固有運動と電波ロープのスペクトル分布 永井 洋 (総合研究大学院大学)
13:36	S04a MAGNUM プロジェクト 1. 現状報告 小林行泰 (国立天文台)	14:36 S14b 那須 1.4GHz 電波干渉計による変動電波源サーベイ観測 松村寛夫 (早稲田大学)
13:48	S05a MAGNUM プロジェクト 2. NGC4395 の数時間スケールの変光現象 峰崎岳夫 (東京大学)	14:36 S15b 3rd EGRET 未同定ガンマ線源の候補電波源モニター 新沼浩太郎 (早稲田大学)
14:00	S06a MAGNUM プロジェクト 3. ダスト反響法と Ia 型超新星を用いた Mrk744 の距離指標の比較 越田進太郎 (東京大学)	14:36 S16b 光結合 e-VLBI による超低光度 AGN の探査 須藤広志 (岐阜大学)
14:12	S07b Subaru Spectropolarimetry of a Seyfert 2 Galaxy Mrk 573 長尾 透 (アルチェトリ天文台)	14:48 S17b 原始活動銀河核における巨大ブラックホールの成長 川口俊宏 (国立天文台)
14:12	S08b NGC7319 の電離ガス outflow と radio ejecta の関係 橋本哲也 (東京大学)	14:48 S18b MHD シミュレーション結果を用いた AGN ジェットの観測的可視化 木暮宏光 (京都大学)
14:12	S09b Groth Strip の XMM-Newton X 線源の光学赤外線特性 宮地崇光 (カーネギーメロン大学)	
14:24	S10b Subaru/XMM-Newton Deep Field (SXDF) における AGN の可視変光と X 線の関係 諸隈智貴 (東京大学)	

9月23日(木) 午前・D会場		9月23日(木) 午後・D会場	
09:30	S19a 爆発的星形成領域起源のガス雲による活動銀河中心核の遮蔽 渡部靖之 (筑波大学)	13:30	S29a ブラックホール+降着円盤システムにおける磁場構造について 高橋真聡 (愛知教育大学)
09:42	S20a 1型大光度赤外線銀河はブラックホール成長段階にある天体か? 川勝 望 (SISSA)	13:42	S30a 基礎物理を考慮したコロナモデルにおける蛍光鉄輝線のプロファイル 川中宣太 (京都大学)
09:54	S21a Chandra 衛星と VLA による近傍通常銀河中の超低光度活動的銀河核の観測 寺島雄一 (宇宙航空研究開発機構)	13:54	S31a ブラックホール影の観測とその先の物理 高橋芳太 (京都大学)
10:06	S22a ASCA と Chandra による電波ローブ天体 Fornax A の観測 伊藤光一 (埼玉大学)	14:06	S32a Anatomy of accreting matter with the VSOP-2 亀野誠二 (国立天文台)
10:18	S23a 電波銀河 3C66B におけるミリ波ジェット 井口 聖 (国立天文台)	14:18	S33a ほらいずん望遠鏡はもはやホラではない 三好 真 (国立天文台)
10:30	S24a kpc-Mpc ジェットは相対論的か? 44 天体の多波長解析による ノット、ホットスポット、ローブの統一描像 片岡 淳 (東京工業大学)		
10:42	S25a コクーン力学から探る電波銀河ジェットの全パワーと年齢 紀 基樹 (SISSA)		
10:54	S26a 高温プラズマ中で生成される電子・陽電子対プラズマ風からの輻射 浅野勝晃 (国立天文台)		
11:06	S27a 活動銀河核ジェットの伝搬と減速 水田 晃 (京都大学)		
11:18	S28a CIP-MOCCT コードを用いた MHD ジェットの 3 次元シミュレーション 木暮宏光 (京都大学)		

T. 銀河団

9月21日(火) 午前・A会場			
10:00	T01b 温度勾配によるワイベルタイプ不安定性の数値シミュレーション 岡部信広 (東北大学)	10:48	T11a 階層的宇宙における銀河団ガスの非重力的加熱 清水 守 (東京大学)
10:00	T02b 野辺山 45m 望遠鏡を用いた銀河団の Sunyaev-Zel'dovich 効果の撮像観測 桑原 健 (東京大学)	11:00	T12a 銀河団内サブストラクチャーの流体シミュレーション 滝沢元和 (山形大学)
10:00	T03b XMM-Newton 衛星による銀河団の X 線観測 茅野真裕 (東京理科大学)	11:12	T13a 銀河団ガスのコア構造: 等温力学平衡解 赤堀卓也 (東京都立大学)
10:12	T04b XMM-Newton 衛星による小銀河団 A3581 の観測 山田芳徳 (広島大学)	11:24	T14a Relaxed cluster の L_X -T 関係と β モデル 太田直美 (理化学研究所)
10:12	T05b ペルセウス座銀河団南西領域の高温ガスの構造 佐藤浩介 (東京都立大学)	11:36	T15a A1060 銀河団の高温ガスと重力質量の分布 早川 彰 (東京都立大学)
10:12	T06b XMM-Newton 衛星によるペルセウス座銀河団の広域観測 古庄多恵 (宇宙航空研究開発機構)	11:48	T16a 重力レンズ効果による Abell 1689 銀河団の質量分布 高田昌広 (東北大学)
10:24	T07b Chandra 衛星によるおとめ座銀河団の銀河の周りに広がる X 線ガスの起源 飯塚 亮 (宇宙航空研究開発機構)	12:00	T17a 銀河団ガスとメンバー銀河の相対的な空間分布の進化 北口貴雄 (東京大学)
10:24	T08b The role of RL instability on the particle acceleration in cluster of galaxies 服部 誠 (東北大学)	12:12	T18a 銀河団、銀河群からのダスト放射の観測可能性 山田健吉 (東邦大学)
	T09c Abell 209 の XMM-Newton データの解析: 中心領域のスペクトル特性 田中伸広 (京都産業大学)	12:24	T19a CNOC 銀河団銀河における [OII] 輝線の時間進化 仲田史明 (University of Durham)
10:36	T10a 銀河団における相対論的電子 - 電子熱制動放射 渡邊勇亮 (上智大学)	12:36	T20a ハッブル宇宙望遠鏡 ACS カメラによる高赤方偏移銀河団サーベイ I 後藤友嗣 (Johns Hopkins University)

U. 宇宙論

9月22日(水) 午前・E会場		
09:00	U01a 宇宙膨張論の検証(そのⅢ 宇宙背景放射は“宇宙の晴上がりの残照”ではない) 阿武靖彦 U02c よみがえる定常宇宙論 林 純一 U03c 光の構造、光に粒と波、両方の性質が有る理由 林 純一	10:36
09:12	U04a 初期宇宙で生成された磁場による宇宙背景放射の異方性 田代寛之(京都大学) U05c 最終散乱時における初期磁場の見積 山崎 大(東京大学)	10:48
09:24	U06a CMB 温度揺らぎによる振動スカラー場宇宙モデルの検証 平野耕一(東京理科大学)	11:00
09:36	U07a 減衰宇宙項を持った宇宙モデルにおける銀河の見かけの等級と計数の関係 小宮 全(東京理科大学)	11:12
09:48	U08a Loh & Spillar test による宇宙論パラメータの決定に関する理論的考察 田坂 守(東京大学)	11:12
10:00	U09a DECIGO/BBO ではかる宇宙の加速膨脹 高橋龍一(国立天文台)	
10:12	U10a 宇宙定数以外のダークエネルギーにおける大規模構造形成 薄田竜太郎(理化学研究所)	
10:24	U11a スーパークラスターの理論的モデル 高橋慶太郎(東京大学)	
		U12a 重力理論に対する SDSS からの観測的制限 白田晶人(東京工業大学) U13a SDSS のデータを用いた重力レンズクエーサーの探索 稲田直久(東京大学) U14a Reconsideration of the flux conservation 吉田 宏(福島県立医科大学) U15b Magnetic field in gravitational lens galaxies Narasimha, Delampady(東北大学) U16b SDSS サンプルのバリエーションから予想される宇宙論パラメータへの制限 村田孔孝(名古屋大学) U17c Brans-Dicke Λ モデルにおけるビッグバン元素合成 中村理央(九州大理)

V. 地上観測機器

9 月 21 日 (火) 午後・F 会場			
15:42	V01a ALMA の建設 (1) 長谷川哲夫 (国立天文台)	16:30	V12b フォトニック局部発振器用フォトミキサーの冷却実験 高野秀路 (国立天文台)
15:54	V02b ALMA プロトタイプアンテナの評価 齋藤正雄 (国立天文台)	16:30	V13b HEB ミクサ素子の受信機デューワーによる冷凍実験 永井 誠 (東京大学)
15:54	V03b 光学望遠鏡による ALMA12m プロトタイプアンテナ指向精度評価 池之上文吾 (国立天文台)	16:42	V14b ASTE 搭載サブミリカメラの極低温読み出し回路 小林 純 (東邦大学)
15:54	V04b ALMA バンド 4 受信機開発の進捗状況 (II) 小川英夫 (大阪府立大学)	16:42	V15b ASTE 搭載 3 色ボロメーターの冷却光学系の開発 永田洋久 (国立天文台)
16:06	V05b 切削により製作した ALMA Band4 用コルゲートホーンの評価 木村公洋 (大阪府立大学)	9 月 22 日 (水) 午前・F 会場	
16:06	V06b ALMA BAND8 Qualification Model の開発 佐藤直久 (国立天文台)	09:00	V16a VERA 観測システムの進捗と観測精度の検証 小林秀行 (国立天文台)
16:06	V07b ALMA-Band8 受信機の First Local Oscillator の評価試験 飯塚吉三 (国立天文台)	09:12	V17a VERA 観測システムの現状と光結合 VLBI 網の利用計画 川口則幸 (国立天文台)
16:18	V08b ALMA Band 8 受信機 RF hybrid & LO coupler の評価 神蔵 護 (東京大学)	09:24	V18a デジタルフィルタバンクの周波数応答特性 倉山智春 (東京大学)
16:18	V09b ALMA band 8 受信機のゲイン安定性の評価試験 神庭利彰 (国立天文台)	09:36	V19b VERA によるクエーサー 3C345 と NRAO512 の位相補償観測 (III) 猪俣則智 (鹿児島大学)
16:18	V10b ALMA Band8 (385-500GHz) 受信機冷却光学システムのビームパターン測定 鳥羽弘之 (東京大学)	09:36	V20b VLBI データ解析用パイプラインの開発 今井 裕 (鹿児島大学)
16:30	V11b ALMA サブミリ波用広帯域 3dB ブランチラインカプラの最適化 安藤浩哉 (豊田高専)	09:36	V21b 光結合 e-VLBI の検出感度評価 河野裕介 (国立天文台)

09:48	V22b アストロメトリの高精度化に向けた 光結合 e-VLBI 測地の開発 高羽 浩 (岐阜大学)		V33c 伝送路中の鏡面修正による波面誤差 の補正 氏原秀樹 (国立天文台)
09:48	V23b 電波天文用ソフトウェア BBC シス テムの開発 竹内 央 (情報通信研究機構)		V34c 日露共同観測による PSR1937+21 の 2 周波観測結果 花土ゆう子 (情報通信研究機構)
09:48	V24b 200GHz 帯 2SB 受信機搭載 60cm 電 波望遠鏡のマルチライン同時観測 II 中島 拓 (大阪府立大学)	9 月 22 日 (水) 午後・F 会場	
10:00	V25a 那須 20m、30m 球面鏡の光学系と 信号処理 大師堂経明 (早稲田大学)	13:00	V35b GRB 閃光観測用広視野・高時間分 解能カメラの開発 廿日出 勇 (宮崎大学)
	V26c 那須 8 素子干渉計ローカル位相制御 用位相シフターアレイの制作 遊馬邦之 (早稲田大学/埼玉県立久喜高等学校)	13:00	V36b 岡山天体物理観測所のガンマ線バー ストフォローアップ 50cm 望遠鏡 柳澤顕史 (国立天文台)
10:12	V27a 北海道大学 11m 電波望遠鏡による NH ₃ 輝線試験観測 栗野穰太 (北海道大学)	13:00	V37b ガンマ線バースト可視光閃光観測シ ステム「WIDGET」の性能評価 恩田香織 (東京理科大学/理化学研究所)
	V28c 北海道大学 11m 電波望遠鏡の 22GHz 化: 観測制御プログラム 福谷義明 (北海道大学)	13:12	V38b 岡山天体物理観測所 常設シーイン グモニター 服部 堯 (国立天文台)
10:24	V29a NANTEN2 計画: 口径 4m ミリ波・ サブミリ波望遠鏡@アタカマ 大西利和 (名古屋大)	13:12	V39b TAO 望遠鏡建設のためのアタカマ 調査 6: 赤外雲モニタによる雲量調査 宮田隆志 (東京大学)
10:36	V30a NANTEN2 計画: 制御特性の測定 伊藤晋吾 (名古屋大学)	13:12	V40b 次世代超大型光赤外望遠鏡 I: 30m JELT 構想 家 正則 (国立天文台)
10:48	V31b 「NANTEN2」の光学系の開発 阪本和則 (名古屋大学)	13:24	V41a 次世代超大型光赤外望遠鏡 II: 超軽 量架台の開発経過 栗田光樹夫 (名古屋大学)
10:48	V32b Linux による電波望遠鏡制御ソフト ウェアの開発: NANTEN2 無人運用 システムにむけて (2) 笹子宏史 (名古屋大学)	13:36	V42a 次世代超大型光赤外望遠鏡 III: 分割 鏡支持アクチュエータの開発 千田崇文 (京都大学)

	V43c 次世代超大型光赤外望遠鏡 IV : ZPF セラミック鏡の試作 三ツ井健司 (国立天文台)	14:24	V54b 完全空乏型 CCD の開発 (3) 鎌田有紀子 (国立天文台)
13:48	V44a 次世代超大型光赤外望遠鏡 VI : 研削で鏡面製作する方法の開発 佐藤修二 (名古屋大学)	14:24	V55b CCD カメラシステムが非線形な反応を示す場合の photon transfer curve 秋田谷 洋 (東北大学)
14:00	V45b 次世代超大型光赤外望遠鏡 V : CGH を用いた off-axis 鏡の検査法 木野 勝 (名古屋大学)	14:24	V56b 京都大学飛騨天文台 SMART 望遠鏡におけるノイズ対策 仲谷善一 (京都大学)
14:00	V46b すばるレーザーガイド星補償光学系プロジェクト 高見英樹 (国立天文台)	14:36	V57a PC クラスタの構築と観測データ表示並列処理ソフトウェアの試作 中村京子 (国立天文台)
14:00	V47b すばるレーザガイド星補償光学系プロジェクト : 589nm 高出力周波レーザの開発 齊藤嘉彦 (国立天文台)	14:48	V58a JVO の研究開発 (汎用検索言語の検討) 白崎裕治 (国立天文台)
14:12	V48b すばるレーザガイド星補償光学系プロジェクト : レーザ伝送用光ファイバーの開発 早野 裕 (国立天文台)	15:00	V59b すばる望遠鏡公開データアーカイブシステム SMOKA の新機能開発 榎 基宏 (国立天文台)
	V49c すばる望遠鏡汎用検出器制御システム Messia5 (2) 中屋秀彦 (国立天文台)	9 月 23 日 (木) 午前・F 会場	
	V50c すばる望遠鏡観測スケジュール機能の開発 佐々木敏由紀 (国立天文台)	09:30	V60a TAMA300 の現状 (14) 新井宏二 (国立天文台)
	V51c 東京大学木曽観測所 30cm 望遠鏡システムの開発 III 三戸洋之 (東京大学)	09:42	V61a 重力波検出器 (TAMA300) の解析の現状について 辰巳大輔 (国立天文台)
14:12	V52b 可視同時偏光撮像装置の開発 藤田健太 (神戸大学)	09:54	V62a 重力波を表現する空間について 端山和大 (国立天文台)
14:12	V53b Nb-Al-AlOx-Al-Nb STJ 一光子分光検出器を用いた可視光試験観測 志岐成友 (理化学研究所)	10:06	V63a 30m 基線光干渉計 MIRA-I.2 の装置性能評価 吉澤正則 (国立天文台)
			V64c 30m 基線光干渉計 MIRA-I.2 の光遅延線の延長と真空化 久保浩一 (国立天文台)

		9月23日(木) 午後・F会場	
10:18	V65a 差分型ステラコロナグラフの実験 佐藤陽一郎(北海道大学)	13:30	V73a ベルーの32m アンテナ計画の進行 状況(II) Ishitsuka I., Jose K. (国立天文台)
10:30	V66a 4分割型位相マスクコロナグラフに おける副鏡影響の低減化 村上尚史(北海道大学)	13:42	V74a 野辺山45m 電波望遠鏡メトロロ ジー機能の開発: 強風下でのアンテ ナの振る舞い 久野成夫(国立天文台)
10:42	V67a 近赤外線カメラ SIRIUS の検出器読 み出しシステムの改良 永山貴宏(京都大学)	13:54	V75a ASTE ホログラフィ法による鏡面 の高精度化(3) 山口伸行(国立天文台)
10:54	V68a Near-infrared Absolute Calibration Tokunaga, Alan (Institute for Astronomy, University of Hawaii)	14:06	V76a ASTE 搭載3色ボロメータの試験観 測成果 守 裕子(総合研究大学院大学)
11:06	V69a 大型鏡の反射率維持—すばるにおけ る critical maintenance の例 林 左絵子(国立天文台)	14:18	V77a 野辺山ミリ波干渉計による flux 精度 検定実験(I) 田村陽一(東京大学/国立天文台)
11:18	V70a 広島大学1.5m 望遠鏡計画 II: サイト 調査 川端弘治(広島大学)	14:30	V78a VLBI 電波源探索への SDSS 分光 データの活用 松本欣也(九州東海大学)
11:30	V71a ガンマ線バースト自動観測望遠鏡に よる宇宙の一番星への挑戦 米徳大輔(金沢大学)	14:42	V79a 汎用 PC による 2Gbps-VLBI システ ム～現状と今後～ 木村守孝(情報通信研究機構)
11:42	V72a 可視突発天体サーベイ用ファイバー テーパーの光学性能測定 倉田宗人(東北大学)	14:54	V80a 多基線 VLBI 観測による観測点の独 立大気揺らぎの検出 西尾正則(鹿児島大学)
		15:06	V81a 長波標準電波受信位相に見られる 30秒から60秒周期の変動について 佐藤克久(国立天文台)

W. 飛翔体観測機器

9月21日(火) 午前・G会場			
10:00	W01a Astro-E2 衛星搭載硬 X 線検出器 (HXD-II) 主検出部の打ち上げ前校正試験 村島未生 (東京大学)	11:00	W11b Astro-E2 搭載 XIS 表面照射型 CCD の地上較正と応答関数の作成 中嶋 大 (京都大学)
10:12	W02a Astro-E2 衛星搭載硬 X 線検出器 (HXD-II) シールド部の打ち上げ前校正試験 洪 秀徴 (埼玉大学 / 理化学研究所)	11:00	W12b Astro-E2 搭載 X 線 CCD (XIS) 裏面照射型チップの性能評価 山口弘悦 (京都大学)
10:24	W03a Astro-E2 衛星搭載 X 線マイクロカロリメータ XRS の衛星搭載状況の報告 石崎欣尚 (東京都立大学)	11:00	W13b Astro-E2 搭載 XRS 用 X 線望遠鏡の迷光削減への取り組み 榎原匡俊 (東京大学)
	W04c Astro-E2 衛星搭載カロリメータ検出器 XRS の地上較正実験 II 古庄多恵 (宇宙航空研究開発機構)	11:12	W14a Astro-E2 搭載 X 線望遠鏡 (XRT) の地上較正試験による性能評価 内藤聖貴 (名古屋大学)
10:36	W05a Astro-E2 搭載用 X 線 CCD カメラ XIS の軟 X 線領域での較正 II 鳥居研一 (大阪大学)	11:24	W15a Astro-E2 搭載用反射鏡基板の X 線特性の定式化 横山裕士 (宇宙航空研究開発機構)
10:48	W06b Astro-E2 XIS の軟 X 線領域における量子効率 勝田 哲 (大阪大学)	11:36	W16a InFOCUS 気球搭載用硬 X 線望遠鏡の性能評価 (1) 高橋里佳 (名古屋大学)
10:48	W07b Astro-E2 XIS の軟 X 線領域での応答 (レスポンスプロファイルと線形性) 東海林雅幸 (大阪大学)	11:48	W17a InFOCUS 気球搭載用硬 X 線望遠鏡の性能評価 (2) 宮澤拓也 (名古屋大学)
10:48	W08b Astro-E2 搭載 XIS の X 線検出効率における X 線吸収微細構造の影響 並木雅章 (大阪大学)	12:00	W18a DIOS 衛星搭載用 4 回反射型 X 線望遠鏡 FXT の開発 -II 坂下希子 (名古屋大学)
	W09c Astro-E2 XIS 裏面照射型 CCD における信号電荷の広がりデータ処理パラメータの最適化 宮内智文 (大阪大学)	12:12	W19a 高角分解能「多重薄板型」X 線望遠鏡の研究・開発 井上裕彦 (宇宙航空研究開発機構)
	W10c 較正用軟 X 線発生装置の X 線強度変化とスペクトル変化 松浦大介 (大阪大学)	12:24	W20b 軸はずし放物面鏡によるを使った補償光学制御とその性能 北本俊二 (立教大学)
		12:24	W21b 大面積 X 線望遠鏡用非球面基板の開発 II 中島敏和 (愛媛大学)

9月21日(火) 午後・G会場			
14:30	W22a イオンビームスパッタリング装置による軟 X 線望遠鏡用反射鏡の開発 酒井知晶 (名古屋大学)	15:54	W33a アバランシェフォトダイオードを用いた撮像検出器の開発 斉藤孝男 (東京工業大学)
14:42	W23a 硬 X 線望遠鏡の単体反射鏡特性評価 下田建太 (名古屋大学)	16:06	W34a 気球搭載用シンチレーションカウンターの性能評価 中村智一 (名古屋大学)
14:54	W24a 高反射率を目指した Pt/C 多層膜の成膜 岡田俊策 (宇宙航空研究開発機構)	16:18	W35a TES 型 X 線マイクロカロリメータの開発 VIII -256 ピクセルアレイの製作と性能評価— 森田うめ代 (東京都立大学)
15:06	W25b 全天 X 線監視装置 (MAXI) 開発の現状 森井幹雄 (宇宙航空研究開発機構)	16:30	W36a 抵抗加熱蒸着による X 線マイクロカロリメータ用ビスマス吸収体の製作 吉田清典 (宇宙航空研究開発機構)
15:06	W26b HETE-2 がとらえた赤道上空での粒子数異常増加現象 (3) 田中 薫 (青山学院大学)	16:42	W37b 断熱消磁冷凍機を用いた TES 型マイクロカロリメータの X 線測定試験 篠崎慶亮 (東京都立大学)
15:06	W27b NeXT 衛星搭載 Soft X-ray Imager (SXI) の開発 鶴 剛 (京都大学)	16:42	W38b カーボンナノチューブを用いたガス検出器の開発 千葉茂人 (立教大学)
15:18	W28b NeXT 衛星搭載用透過型 CCD (SXI) の開発状況と冷却方法の検討 高木慎一郎 (京都大学)	16:42	W39b 透過型多層膜を用いた X 線偏光検出 金井淳一 (立教大学)
15:18	W29b 次期 X 線天文衛星 NeXT 搭載用 N 型 CCD の性能評価 (3) 乾 達也 (京都大学)		
15:18	W30b 積層型 X 線撮像素子による硬 X 線撮像分光検出器の検討 平賀純子 (宇宙航空研究開発機構)		
15:30	W31a CCD を用いた 0.1 から 100keV に感度を持つ広帯域高性能 X 線検出器の開発 II 宮田恵美 (大阪大学)		
15:42	W32a 学生主導の小型衛星の開発 ~東工大 Cute1.7 の現状~ 倉本祐輔 (東京工業大学)		

9月22日(水) 午前・G会場		9月22日(水) 午後・G会場	
09:00	W40a 天体硬 X 線偏光検出器 PoGO の開発試験 (I) 有元 誠 (東京工業大学)	13:00	W49a VSOP-2 計画の提案について 平林 久 (宇宙航空研究開発機構)
09:12	W41a 天体硬 X 線偏光検出器 PoGO の開発試験 (II) 水野恒史 (スタンフォード線形加速器センター)	13:12	W50b VSOP-2 計画用の衛星システム III 村田泰宏 (宇宙航空研究開発機構)
09:24	W42a ピクセル読み出し型 μ -PIC による X 線偏光検出器の開発 小野健一 (京都大学)	13:12	W51b VSOP-2 における姿勢制御の検討 望月奈々子 (宇宙航空研究開発機構)
09:36	W43a 50 μ m ピッチガス電子増幅フォイルの開発と X 線偏光計への応用 玉川 徹 (理化学研究所)		W52c VSOP-2 冷却受信機システムの検討 春日 隆 (法政大学)
09:48	W44a 半導体コンプトンカメラのための CdTe ピクセル検出器の開発 三谷烈史 (宇宙航空研究開発機構 / 東京大学)		W53c VSOP-2 位相補償によるイメージング性能向上の検討 朝木義晴 (宇宙航空研究開発機構)
10:00	W45a 両面シリコンストリップを用いた軟ガンマ線コンプトンカメラの開発 深沢泰司 (広島大理)	13:12	W54b PLANET-C 搭載赤外線カメラ IR2 による黄道光観測計画 上野宗孝 (東京大学)
10:12	W46a コンプトン散乱運動学を用いた MeV ガンマ線画像検出器およびそれを用いた MeV ガンマ線全天探索計画 谷森 達 (京都大学)	13:24	W55b 国立天文台大型クリーンルームの性能及び清浄度評価 野口本和 (国立天文台)
10:24	W47a ガス飛跡検出機を用いたガンマ線コンプトンイメージング検出器の開発 高田淳史 (京都大学)		W56c Solar-B EUV Imaging Spectrometer ーフライトモデル 原 弘久 (国立天文台)
10:36	W48a 軟ガンマ線観測用位置検出型シンチレーション検出器の開発 青井敏浩 (広島大学)	13:24	W57b Solar-B 衛星 X 線望遠鏡の開発 (熱試験、ソフトウェア最終試験) 松崎恵一 (宇宙航空研究開発機構)
		13:24	W58b SOLAR-B 搭載 X 線望遠鏡 CCD の放射線耐性 坂尾太郎 (宇宙航空研究開発機構)
		13:36	W59b Solar-B 可視光望遠鏡フライトモデルの開発状況 一本 潔 (国立天文台)
		13:36	W60b Solar-B 可視光望遠鏡フライト品のベークン成果報告 田村友範 (国立天文台)

9月23日(木) 午前・G会場	
13:36	W61b ヘリオスタットを用いた Solar-B 可視光望遠鏡太陽光試験計画 末松芳法 (国立天文台)
13:48	W62b SOLAR-B 可視光望遠鏡 (SOT) 像安定化装置フライト品の像安定性能評価結果 清水敏文 (国立天文台)
13:48	W63b Solar-B 可視光望遠鏡: 熱光学試験による焦点移動量評価 勝川行雄 (国立天文台)
13:48	W64b Solar-B 可視光望遠鏡: OTA 最終光学性能と補正光学系 大坪政司 (国立天文台)
14:00	W65b C/C 複合材料による軽量鏡開発 (2) 小原直樹 (東京大学)
	W66c JASMINE (赤外線位置天文観測衛星) と Nano-JASMINE 計画について 郷田直輝 (国立天文台)
14:00	W67b JASMINE における星像中心位置の高精度測定実験 矢野太平 (国立天文台)
14:00	W68b JASMINE シミュレーターの開発 V 山田良透 (京都大学)
14:12	W69a GaAs 半導体を用いた高感度遠赤外線検出器の開発 (II) 渡辺健太郎 (宇宙航空研究開発機構)
14:24	W70b 分割鏡を用いた軌道上大型望遠鏡のための要素技術研究 度会英教 (宇宙航空研究開発機構)
14:24	W71b 気球搭載遠赤外線干渉計の光学設計 松尾太郎 (名古屋大学)
14:24	W72b 外惑星探査機における黄道光の光学観測 臼井文彦 (宇宙航空研究開発機構)
09:30	W73a ASTRO-F 望遠鏡 改修後の光学・機械性能の再評価 金田英宏 (宇宙航空研究開発機構)
09:42	W74a ASTRO-F 搭載近中間赤外線カメラ IRC の現状と性能評価 上水和典 (西はりま天文台)
09:54	W75a ASTRO-F 搭載中間赤外線カメラ (MIR-L) の開発の現状 II 藤代尚文 (東京大学)
10:06	W76a ASTRO-F 搭載 FIS 短波長バンド用 Ge:Ga 検出器の最終評価試験結果 松浦周二 (宇宙航空研究開発機構)
10:18	W77a ASTRO-F/FIS 搭載遠赤外線フーリエ分光器の性能評価 今村哲生 (名古屋大学)
10:30	W78a ASTRO-F 衛星搭載遠赤外線観測装置 FIS の最終評価試験報告 川田光伸 (名古屋大学)
10:42	W79a 次期赤外線天文衛星 SPICA のための大型冷却望遠鏡の開発 (III) 塩谷圭吾 (宇宙航空研究開発機構)

Y. 天文教育・その他

9月21日(火)午後・E会場		
15:54	Y01a 小学生の天文・宇宙に関する理解とその改善策の提案 ―天動説支持者は4割― 縣 秀彦(国立天文台) Y02c 小学生の7割は月の満ち欠けの理由を知らない 小4～6年のアンケート結果より 飯田 毅(ミュージアムパーク茨城県自然博物館)	Y11c プラネタリウムで行う最新情報の効果 菊川真以(東京農工大学) Y12c 科学データベースを用いた大学教育 日本福祉大学の例 宇野伸一郎(日本福祉大学)
16:06	Y03a 金星太陽面通過のインターネット中継とその教育利用 荻原文恵(和歌山大学)	16:42 Y13a UWB(超広帯域無線)によるSETIの検討 藤下光身(九州東海大学)
16:18	Y04b 水星と金星の太陽面通過における人工衛星からの視差と1天文単位の測定 大西浩次(国立長野高専)	16:54 Y14b 小惑星探査機「はやぶさ」の軌道運動の可視化 吉川 真(宇宙航空研究開発機構)
16:18	Y05b 次期学習指導要領改訂に向けた天文カリキュラムの提案 有本淳一(京都市立塔南高校)	16:54 Y15b アマチュア天文家の超新星発見はほんとうに重要か? 山岡 均(九州大学)
16:18	Y06b 学生と科学系教育施設の協力による天文学普及活動の報告 高梨直紘(東京大学)	Y16c RKDG法を用いた高精度数値流体計算法の開発 小山 洋(神戸大学)
16:30	Y07b 太陽画像データベースを用いた第22/23太陽周期活動の教材開発 矢治健太郎(国立天文台)	Y17c シュヴァルツシルド望遠鏡の変形、共心2球面黄金分割比解 ―作図を使ったアブラナート解の求め方― 成相恭二(明星大学)
16:30	Y08b 天文学実習教材「宇宙年齢を測る」の開発 西浦慎悟(東京学芸大学)	
16:30	Y09b 天文教材としての望遠鏡ペーパークラフトの開発 阪本成一(国立天文台)	
	Y10c 高校生天体観測ネットワーク～2003年度および2004年度の取り組み 篠原秀雄(埼玉県立三郷北高等学校)	

年会実行委員会

委員長	土居守	(東京大学)
委員	児玉忠恭	(国立天文台)
	下条圭美	(国立天文台)
	藤本龍一	(宇宙航空研究開発機構)
	百瀬宗武	(茨城大学)
	山村一誠	(宇宙航空研究開発機構)
	鈴木知治	(東京大学)
	加藤万里子	(慶應大学) 保育室担当
	吉川真	(宇宙航空研究開発機構) ジュニアセッション担当

年会開催地理事

花見仁史 (岩手大学)